

高架化工事でこう変わる

踏切事故ゼロ、 まちの一体化のために

墨田区と東武鉄道(株)は、東武伊勢崎線（東武スカイツリーライン）とうきょうスカイツリー駅付近の、約0.9kmの区間を高架化する工事を進めています。

桜橋通りにある伊勢崎線第2号踏切を無くすことで、踏切事故の心配も無くなり、車や歩行者も安全に通行できるようになります。

これにより、鉄道で隔てられていた南北市街地の行き来がし易くなり、安全で便利なまちになります。

伊勢崎線第2号踏切の除却

Before
高架化前



桜橋通りの渋滞の様子

伊勢崎線第2号踏切は1日の遮断時間が約8時間もあり、交通渋滞の原因となっています。

After
高架化後

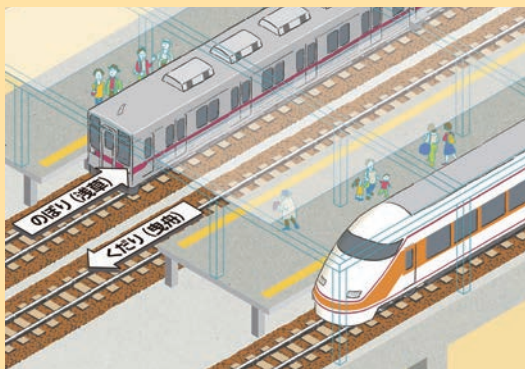


完成後のイメージ

踏切除却後は、交通渋滞が解消されて踏切事故の心配も無くなります。



新たなとうきょうスカイツリー駅



とうきょうスカイツリー駅も大きくし、ホームを2面にして3線が発着する駅にします。

駅前交通広場のイメージ



駅周辺を安全で便利に使えるよう、交通広場や歩行者用の道路を整備します。高架下の空間も生まれます。

高架化工事の進め方(仮線方式)と進捗状況

電車を走らせながら 工事を進めます

この高架化工事は、完成まで約8年間かかりますが、できるだけ電車の運行を妨げることなく、限られた時間や狭いスペースで工事を進めるために、様々な工夫を行っています。

高架化工事の方法は、「仮線方式」と呼ばれる一時的に隣に仮の線路を設けて元々の位置に高架橋を作る方法を採用しています。電車の動いていない夜間が中心となるため、一度に約700人で線路の切替工事を行うこともあります。

また、とうきょうスカイツリー駅付近は、特急始発駅の浅草駅に近いこともあり、上下線本線のほかに留置線（一時的に電車を待機させる線路）や保守施設も多くあります。この留置線を一時的に減らして、ダイヤも工夫することで高架化工事の用地を確保しています。

高架化工事へのご理解ご協力をお願いします。

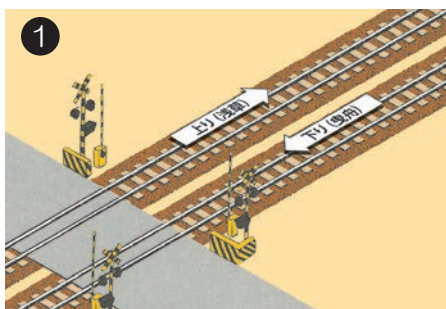
事業の概要や高架化工事の映像をまとめた動画を墨田区公式YouTubeチャンネルで公開しています。



東武鉄道伊勢崎線
(とうきょうスカイツリー駅付近)
連続立体交差事業の概要

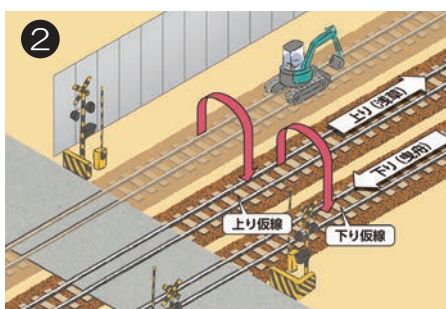
墨田区
東武鉄道株式会社

工事の進め方



工事前・準備工事

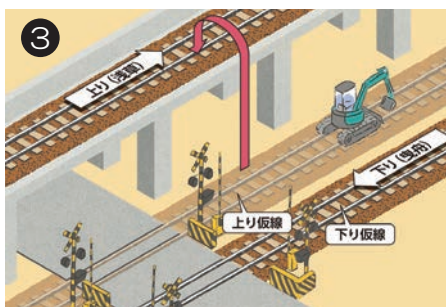
工事前の様子です。上下合わせて2本の線路が走っていて、道路と交わる場所には踏切もあります。まずは、線路を移設するための準備工事（用地の確保、建物や設備の移設・撤去）を行います。



仮線化 (留置線、上下線)

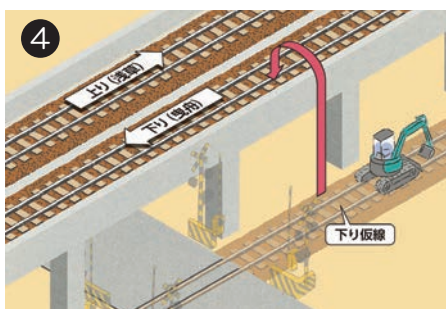
元の線路の横に仮線を作り、夜間に切替え工事を行って線路をずらしします。

平成30(2019)年3月
留置線の仮線化完了
令和2年(2020)3月
上下線の仮線化完了



上り線高架化

元々の上り線のあった部分に高架橋を作ります。高架橋を支える基礎杭を作ってから、上り高架橋と上り駅舎・ホームを作って、切替えます。



下り線高架化

地上の使わなくなった上り線部分を撤去して、下り高架橋を作ります。この事業では、留置線部分も高架化します。



踏切の除却・事業の完了

下り線が高架化すると、いよいよ踏切が無くなります。緊急車両も踏切を待たずにスムーズに走行できます。高架化工事の進展にあわせて、周辺の道路（高架下に新しい道路、狭い歩道の拡幅や駅前広場）や高架下を整備して、事業が完了します。

工事着手前（～2018年1月）

とうきょうスカイツリー駅付近には、国の基準を超えるボトルネック踏切（伊勢崎線第2号踏切）や歩道幅員が狭い言問通りがあります。これらを解消するために高架化工事に着手しました。まずは、周辺の家屋調査を行い、仮線化工事に必要な用地を確保するため、留置線付近の施設（建物や鉄道設備）の撤去・移転工事の計画を進めました。



【2016年5月】留置線付近の様子



【2017年12月】伊勢崎線第2号踏切



【2016年4月】言問通りの様子

仮線化工事（2018年5月～2020年3月）

工事用地を確保する撤去・移設工事を進めて、10線ある留置線を減線し、2019年3月に仮留置線に切替える工事を行いました。その後、鋼鉄製の仮高架橋を作ったり、土留めを兼ねた盛土構造の仮高架橋を作ったり、ホームを切取ったりして、上下線そのものを北側に移設する工事を進めました。2019年12月と、2020年3月夜間切替え工事を行って、上下線の切替えが完了しました。



【2019年5月】駅付近の工事状況



【2019年8月】仮高架橋の架設状況



【2019年10月】仮踏切の準備状況

上り高架橋工事（2020年4月～）

上下線が切替わった後は、踏切の遮断機や道路のカラー舗装の位置も新しい位置に変えました。使わなくなった線路を撤去して、工事機械・車両のための搬出入路を確保して、上り線（浅草方面）高架橋の建設に着手しました。墨田区では、地盤が軟弱な低地が広がっているため、基礎杭を地中40m深くまで打設することから始めます。線路に近接した工事が続くので、引き続き夜間作業を伴いながら、順次高架橋を築造していきます。駅付近では、作業効率化のため、スロープ状の搬出入路も設置しています。



【2020年6月】仮線化完了後の踏切



【2020年9月】搬出入路の確保状況



【2020年9月】基礎杭の打設状況

高架橋工事の進捗図 （令和2年10月時点）



【2020年3月】線路切替人力作業



【2020年9月】大型機械作業

アンケート

連続立体交差事業の紹介イベントとして
興味あるものを次の中から選んでください。

レールウォーク

“完成した高架橋の上を一足先に歩きたい”

工事見学ツアー

“鉄道工事の解説を生で聞きたい”

VR（バーチャルリアリティー）

“まちの将来を VR ゴーグルで見たい”

精細な鉄道模型（ジオラマ）

“電車も走るような模型にグレードアップ！”

高架化工事と沿線写真展

“沿線の歴史や工事の様子をもっと知りたい”

子どもが楽しめる催し

“非常停止ボタンや鉄道工事機械の体験”

映像・SNS の活用

“有名人のナレーションなど、興味を持てる仕掛けを！”



工事見学ツアー等のイメージ